

## 千葉県環境審議会鳥獣部会の開催結果（概要）

- 1 開催日時 平成27年9月18日（金）  
午後2時から午後3時10分
- 2 開催場所 千葉県森林会館 5階 第1会議室  
千葉市中央区長洲1-15-7
- 3 出席者  
【委員】吉田正人委員（部会長）、木下敬二委員、羽山伸一委員、  
梅山雄二委員、勝山満委員、能城勝委員、飯沼喜市郎委員  
【県】生活安全・有害鳥獣担当部長、自然保護課長他
- 4 議案  
議案第1号 平成27年度ニホンジカ狩猟（案）について  
議案第2号 嶺岡山鳥獣保護区特別保護地区の指定（案）について  
議案第3号 千葉県環境審議会鳥獣部会運営規程の一部改正について
- 5 報告  
第1号 第3次千葉県第二種特定鳥獣管理計画（ニホンジカ）に基づく平成27年度の事業実施方針（案）について  
第2号 千葉県キョン防除実施計画に基づく平成27年度の事業実施方針（案）について
- 6 鳥獣部会の審議結果  
議案第1、2、3号議案について、原案通り異議なく議決された。
- 7 主な質疑等  
議案第1号  
○ 10年間で4倍に拡大したということでは、今やっているやり方では減らないのではないか。もう少し踏み込んでいく必要があると思うので、計画について見直された方がいいと思う。  
○ 南房総市を訪問したところ、下層植生が相当影響を受けているのを見ました。防災の意味も含めて調査を実施した方がいいと思います。確実に減らさないと回復させるのに相当の時間がかかってしまう。  
→ 下層植生の調査については、来年度実施したいと県でも検討しておりまして来年度当初予算要求を検討し、次期計画に載せたいと考えている。

## 報告事項

- キョンの捕獲数が伸びているがそれ以上生息数に増えている。制御不能状態。計画を大幅に見直す必要があるのではないか。
  - 効果的な捕獲方法がない状態。大島とも連携して対応したいと考えている。また、市町村の有害捕獲事業への補助として、今年度からキョンを対象獣種としたところ。
- 技術をもった中小企業が多いから、わなを共同で開発するなどの仕組みづくりが必要なのでは？
  - 県内では警備の技術を利用した ALSOK が技術を活用して箱わなによる捕獲を行っている。
- 市町村が実施している有害捕獲における捕獲努力量が分からないと、対策が立てようがない。市町村にはデータを出してもらった方が良い。

## その他

- 野生鳥獣から被害を受けていることを都会の人に知ってもらおうということ、捕獲すること、それを食べることをもっと活用してもらって欲しい。
- アライグマやハクビシンも都市部に増えている。食物残渣や空き家なども問題点であると思うが、それへの対応も考えて欲しい。